

医療関係者 各位

「術前中止薬管理 Web アプリ」の院外配信について

佐賀大学医学部附属病院
横断的止血・血栓診療班長 末岡榮三朗
医療安全管理室長 木村晋也

手術等の侵襲的医療行為を実施する際、事前に抗血小板薬や抗凝固薬などの中止・継続を判断し、適切な休薬期間を指示する必要があります。当院では、その中止忘れ・不適切な中止を予防し、ガイドライン等の科学的根拠に基づき休薬を判断するため、2017年より「術前中止薬管理 Web アプリ」を開発し2018年より院内限定で利用して有効性・安全性を検証するとともに(Kimura et al, Medicine 99(19), 2020)、ガイドライン等の改定に応じて情報を更新してきました。

佐賀大学医学部附属病院 術前中止薬管理Webアプリ



2022年1月よりこの「術前中止薬管理 Web アプリ」を院外に配信し、地域の医療機関をはじめ、多くの医療スタッフの皆様に活用いただくことで、より安全で効果的な手術・薬物療法の実践を目指します。

「術前中止薬管理 Web アプリ」は以下の URL、2次元バーコードから登録できます。

<https://itbws.net/suh/glv/login.php>

院外配信に伴いこれまでのユーザー登録情報はリセットされます。

ご利用継続の際には、再度登録いただきますようお願い致します。



※「術前中止薬管理 Web アプリ」の利用方法詳細は、次ページおよび、当院の「医療安全管理室、薬剤部 HP」をご参照ください。

佐賀大学医学部附属病院「術前中止薬管理 Web アプリ」 利用方法

「術前中止薬管理 Web アプリ」の初期画面からユーザーID、職種、所属施設・所在地を登録し、以下の免責同意事項に同意いただいた場合に利用可能となります。

免責同意事項

- 本 Web アプリの利用者は、本 Web アプリより得た情報をご自身の判断と責任において利用するものとし、本 Web アプリにおいて、又は本 Web アプリより得た情報を基に行った一切の行為及びその結果について一切の責任を負うものとします。
- 本 Web アプリの情報には、最新ではない情報や国内の医薬品の適応外の情報等が含まれることがあります。ご使用に際しては、国内の最新の添付文書やガイドライン等をよくご覧下さい。
- 本 Web アプリの登録内容や使用履歴データ等(ユーザー登録内容、薬・出血リスク・血栓リスクの選択履歴等)は、本 Web アプリの安全性や有効性を検証し本 Web アプリを改良する目的とした臨床研究に使用し、学会や論文等に発表致します。
- 本 Web アプリの著作権は佐賀大学医学部附属病院に帰属し、無断複製・転載を禁じます。
- 不適切な入力を確認した場合には、ユーザー登録から削除致します。

初期画面から、「術前に中止を検討する薬」、「血栓リスク(薬の投与目的)」、「出血リスク(予定手術)」を選択すると、休薬情報と出典が表示されます。

【注意】 必ず出血リスクと血栓リスクを評価し、本剤を短期中止可と判断される場合のみ、休薬期間を参考にしてください。休薬した場合、術後の止血を確認して速やかに適切な再開を検討してください

※出血リスクと血栓リスクの休薬判断が互いに矛盾する場合には、処方医師および専門医師にコンサルトしてください。

本 Web アプリについて、変更した方がよい点等、お気づきの点は、ユーザー登録し、ログイン後にお問合せ画面から入力をお願い致します。

多くの医療スタッフの方に、本 Web アプリを効果的にご活用いただけますよう、引き続き、本 Web アプリの有効性・安全性の試験を継続し、改良して参ります。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

ユーザー登録

ユーザーID、都道府県、所属、職種を選択、
免責同意事項に同意の上、登録してください。

ユーザーID:

職種: 医師 薬剤師 看護師 学生 その他

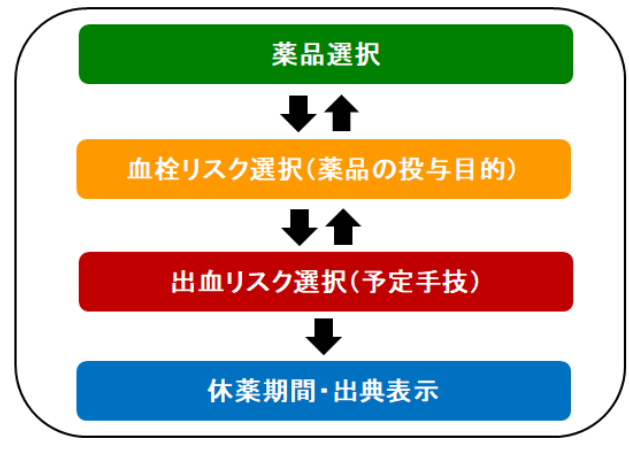
所属施設: 病院 薬局 その他

施設所在地:

免責同意事項: 本アプリの利用者は、本アプリより得た情報をご自身の判断と責任において利用するものとし、本アプリにおいて、又は本アプリより得た情報を基に行った一切の行為及びその結果について一切の責任を負うものとします。
本アプリの情報には、最新ではない情報や国内の医薬品の適応外の情報等が含まれることがあります。ご使用に際しては、国内の最新の添付文書やガイドライン等をご確認ください。
本アプリの登録内容や使用履歴データ等(ユーザー登録内容、薬・出血リスク・血栓リスクの選択履歴等)は、本アプリの安全性や有効性を検証し本アプリを改良する目的とした臨床研究に使用し、学術や論文等に発表致します。
本アプリの著作権は佐賀大学医学部附属病院に帰属し、無断複製・転載を禁じます。
不適切な入力を確認した場合には、ユーザー登録から削除致します。

同意する

アプリ動作



薬品選択

検索

抗血小板薬

抗凝固薬

直接入力:

薬品:
(一般名)
(商品名)

ルファリン
 ワーファリン、 ルファリンカリウム、 ルファリンK

[適応症を見る](#)

適応症

ワルファリン【経口抗凝固剤】
血栓塞栓症(静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、緩徐に進行する脳血栓症等)の治療及び予防

血栓リスク選択

選択した薬品の投与目的となる疾患を選択してください

冠動脈疾患

脳梗塞

心房細動

静脈血栓塞栓症

高	<p>【疾患】</p> <ul style="list-style-type: none"> CHA2DS2-VAScスコア 7-9点 3ヶ月以内の心原性塞栓症の既往 <p>【対応】</p> <p>ワーファリンの場合は5日前、DOACの場合は1日前から中止する。止血確認後に術後24時間以内に再開。 ヘパリン置換必要。 (大出血の既往や高出血リスクの場合は行わない)</p>
中	<p>【疾患】</p> <ul style="list-style-type: none"> CHA2DS2-VAScスコア 5-6点 心原性塞栓症の既往 <p>【対応】</p> <p>ワーファリンの場合は5日前、DOACの場合は1日前から中止</p>

出血リスク選択

予定されている手技を選択ください

麻酔

手術・手技

消化器内視鏡

高	<p>【対応】</p> <p>抗血栓薬の継続は不可能な手技 抗血栓薬の中止が可能となるまで手術延期</p> <p>【手技例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 硬膜外麻酔 血小板数低下時における脊髄クモ膜下麻酔a 出血性薬因を有する患者への脊髄クモ膜下麻酔b 出血性薬因を有する患者への深部神経ブロックb <p>詳細を見る</p>
中	<p>【対応】</p> <p>アスピリンのみ継続可能な手技 アスピリン以外は中止</p> <p>【手技例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 脊髄クモ膜下麻酔

休薬期間・出典表示

出血リスクと血栓リスクの休薬判断が互いに矛盾する場合には、処方医師および専門医師にコンサルトしてください。

血栓リスク:高:心房細動

ワーファリンの場合は5日間、DOACの場合は1日前から中止する
止血確認後に術後24時間以内に再開
ヘパリン置換検討(大出血の既往や出血高リスクの場合は行わない)

出血リスク:高:麻酔

抗血栓薬の継続は不可能な手技
抗血栓薬の中止が可能となるまで手術延期

【注意】必ず出血リスクと血栓リスクを評価し、本剤を短期中止可と判断される場合のみ、以下の休薬期間を参考にしてください。

休薬期間:硬膜外麻酔の場合:5日休薬。

穿刺手技前に、PT-INR ≤ 1.2確認する*3。機械弁挿入患者、心房細動および深部静脈血栓症といった高リスク群は、休薬期間中、未分画ヘパリンまたは低分子ヘパリン置換を換える*3。
*3 抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン(2016年)

主な出典

- 抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(2012年)、直接経口抗凝固薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する追補2017
- 抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン(2016年、追補2018年)
- 循環器疾患における抗凝固抗血小板療法に関するガイドライン(2009年改訂版)(2015年更新版)
- 心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)
- 脳卒中治療ガイドライン2015(追補2017)
- 科学的根拠に基づく抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン(2015年)
- 医薬品添付文書 など

「術前中止薬管理アプリ」を地域の医療機関で活用し、
安全で効果的な周術期薬物療法の実践を目指す!

